

## ⑥ 小児がん

希少で多種多様ながん種からなる小児がんについて、本県医療体制の整備や他県医療機関等との連携体制の強化など、小児がん治療の体制整備を進めます。

### 現 状 と 課 題

▽がんは、本県において、小児や青少年等、若年世代の病死原因の第1位となっています。

▽県内では、県内大学等で、白血病等の治療を実施してきましたが、近年は、専門医の不足等から、他県の医療機関等において受療している状況も見られます。

▽このため、本県における小児がんの診療や治療を行うための医療体制の整備が必要です。

#### ◆県内における小児がんの症例「国際小児がん分類」

(平成23年度の新規及び継続症例数、( )は、平成23年度の新規症例数)

疾患名称	白血病、骨髄増殖性疾患、骨髄異形成症候群	リンパ腫及び網状内皮系腫瘍	中枢神経系及び他の頭蓋内・脊髄内腫瘍	神経芽腫及び他の末梢神経細胞腫瘍	網膜芽腫	腎腫瘍
件数	34(6)	11(3)	26(8)	8(3)	7(0)	3(0)
割合	28.3%(25.0%)	9.2%(12.5%)	21.7%(33.3%)	6.7%(12.5%)	5.8%(0%)	2.5%(0%)

肝腫瘍	悪性骨腫瘍	軟部肉腫及び他の骨外発生肉腫	胚細胞性腫瘍及び他の性腺腫瘍	上皮性腫瘍及び黒色腫	その他及び分類不能な上皮性癌	合計
4(0)	5(1)	10(1)	6(1)	2(0)	4(1)	120
3.3%(0%)	4.2%(4.2%)	8.3%(4.2%)	5.0%(4.2%)	1.7%(0%)	3.3%(4.2%)	(24)

[山口県小児慢性特定疾患治療研究事業]

### 今 後 の 取 組 の 方 向 性

#### ■小児がん医療の体制整備

▷がん拠点病院等における小児がん専門医の維持・確保を図ります。[大学]

▷小児がん専門医の育成のため研修医等への支援を行います。[県]

#### ■小児がん拠点病院等との連携体制の整備 [拠点病院]

▷小児がん拠点病院と県内のがん診療連携拠点病院(協力病院)との連携体制を構築します。

▷全国の小児がん中核的機関と県内のがん診療連携拠点病院との診療・支援・研究等に関する情報の共有体制を整備します。

#### ■小児がん医療体制の県民への情報発信 [県]

▷県内における小児がんの罹患等の状況や小児がん専門医療機関等の情報発信に努めます。

## 個別目標

項目名	現 状 (平成 24 年度)	目 標 値 (平成 28 年度)
〔大学〕小児がん専門医の維持・確保	—	2名以上
小児がん拠点病院と県内医療機関とのネットワーク整備 (協力病院の登録)	—	登録
小児がん中核機関と県内医療機関との情報共有体制の整備	—	整備
小児がんの状況、医療体制の情報発信(県民向け)	—	実施

## 具体的な取組

事業概要	H25	H26	H27	H28	H29
小児がん医療体制の整備					
小児がん専門医の維持・確保					
研修医等への研修資金等の貸付					
協力病院の登録					
中核機関との連携体制構築					
小児がん医療体制の県民への情報発信					
県内小児がん医療機関の紹介					
県外小児がん拠点病院等の紹介					
小児がんの実態の紹介(関連：がん教育)					